

み ん な の 文 芸

短歌 全16首

夏の夜に屋台囃子の響きなく蛙の声のみ寂しく聞こゆ
 農一途に大家族をぞ守りくれ感謝は深く偲ぶ父の日
 紫陽花の咲く頃逝きし犬の忌に庭の紫陽花手折りて供け
 距離開けてマスクの顔々異様なれど体操の開始に希望わきくる
 三密を守り自粛の日々長しコロナの恐怖終息見えず
 保育所でトマト食べたと電話来る女孫三歳誉められたくて
 罪のない多くの人死んだのさ忘れちゃいけない八月六日の朝八時十五分
 朝日覚め外に聴こえる雨音に気持ち落ちこみもうひと眠り
 山峡の風は軒にも届き来て風鈴の音やさしき心地
 若き日に友と植えたり櫻も大きくなって花の道なり
 実験を化学反応式にしてヒエログリフを読み解く気持ち
 教職に在りし遠き日懐かしき きょうも三時のラジオ体操
 田植機を操つる女は苗つれてハーメルンの笛吹きとなりて
 コロナ禍は世界共通恐怖なり拡大続くニュースに不安
 鉢植を秋植かえし百合の花見事に咲いて賑い見せる
 真室川乃位の地にて復旧工事マムシに噛まれ血清を待つ

皆野 打木 昭廣
 下田野 浅見 豊子
 下田野 新井 節子
 三沢 新井 叶子
 三沢 根岸 詩子
 皆野 引間 万亀
 皆野 石原 達也
 皆野 大澤 貴夫
 三沢 新井 民子
 三沢 横田 龍雲
 皆野中二年 太幡琉美花
 三沢 眞下 杏子
 国神 藤原マキ子
 上田野 四方田利男
 皆野 村田ハツ代
 皆野 戸塚喜久雄

根岸茉莉選 投稿数 14句

桑の実を食べて昭和を間近にす
 (評)曾て秩父地方は養蚕が盛んで桑畑はどこでも見られました。下校の途中に食べた桑の実で口の中が紫色になった記憶を持つ人も多いことでしょう。甘酸っぱい一粒の桑の実に子供の頃の友達顔や土の香の中で伸び〜遊んだ昭和を懐かしく思い出している作者。二句目、梅雨の冷たい雨に濡れ病気がらしい野良猫が力なくじっとしているので心配して近付くと「カー」と威嚇され驚く作者です。でもその気力に一寸安堵した気持ちも伝わって来ます。三句目、朝曇りは夏の季語。湿度の高い時は香りがより強く感じられる様です。食卓にパンのおいしそうな香り。朝食の話も弾み季語もぴったりにです。
 梅雨しとど病む野良猫の威嚇かな どのめ落つ蟻がむれくる夕の道
 朝曇り生食パンの香り立つ 皆野 豊田喜美恵
 紫陽花や車庫に弓置き師は逝けり 皆野 戸塚喜久雄
 ほととぎす草けずる手のつられ急く 皆野 眞下 杏子
 刈られたる人の背丈の夏蓮 三沢 眞下 杏子
 声掠れせぬかと夜半の時鳥 皆野 根岸 詩子
 三沢 新井 民子
 梅雨晴れ間狭庭の花に蝶ら舞ふ 国神 藤原マキ子
 下田野 浅見 豊子
 手作りの粘りのききし柏餅 三沢 横田 龍雲
 貨車走る石灰石積み梅雨の中 三沢 横田 龍雲
 紫陽花や晴れの日も佳し雨で佳し 下田野 新井 節子
 皆野 引間 千鶴
 コロナ禍の夏挨拶は会釈のみ 三沢 新井 叶子

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して
 みらい創造課までお寄せください。
3日必着 1人1句、1首に限ります。

1歳になる赤ちゃんを募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。期日までに、みらい創造課窓口（写真をご持参ください）または、町ホームページからお申し込みください。

9月号の締め切りは、
8月11日(火)です。

問合せ みらい創造課
☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう

な な せ
奈々芹ちゃん

腰区
 北 圭佑さん
 瑛利奈さん



みんなを笑顔にするたびきりのスマイル！やさしく元気に、これからも毎日を楽しもうね◎1歳おめでとう！！

今月の題字

三沢小6年

太幡 宇杏さん



児童の見守り放送

皆野小4年

川井 梓さん

